

2026.7.10 Innovate MUSEUM事業 成果報告会

# InnovateMUSEUM事業完了後の展開

どのように維持・成長してきたか

ミュージアム活性化実行委員会 釋 知恵子

(大阪市博物館機構 経営企画課)

## 本日の発表の流れ

1. 大阪市博物館機構の紹介と補助事業の概要
2. 2023年度（補助事業期間）：基盤づくり
3. 2024年度（事業完了後）：自走へ
4. 2025年度～現在へ：自走＋利用促進
5. 成果と課題・まとめ

# 1. 大阪市博物館機構の紹介と補助事業概要

## ■ 大阪市博物館機構

平成31（2019）年4月に、全国で初めて博物館・美術館を運営する地方独立行政法人として設立。以下6つの博物館・美術館を運営。



大阪市立美術館



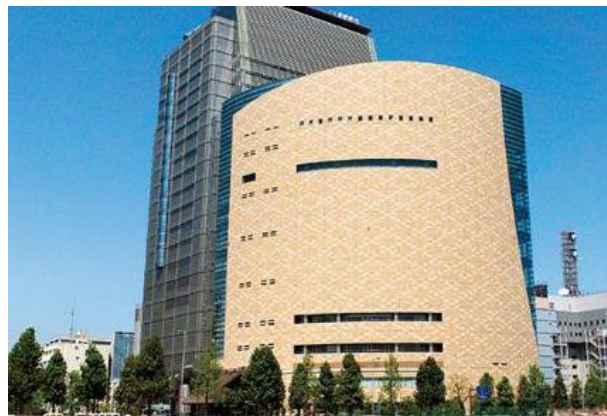
大阪市立自然史博物館



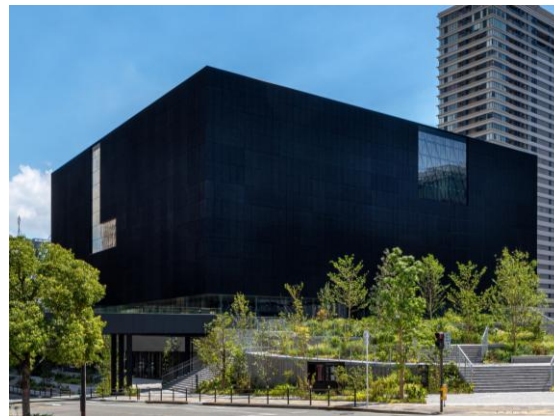
大阪市立東洋陶磁美術館



大阪市立科学館



大阪歴史博物館



大阪中之島美術館※PFI事業者による運営

# 1. 大阪市博物館機構の紹介と補助事業概要

## ■ 補助事業概要

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名称        | 大阪市内で活動する博物館群の所蔵データ公開に向けての基礎共通フォルダ考案・構築に向けての制作事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 事業者         | ミュージアム実行委員会（大阪歴史博物館を中核館として機構の6館・機構・大阪国際交流センター・大阪観光局・大阪市文化財協会・大阪市内立中央図書館で構成）                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事業の種類       | <p>MuseumDX（博物館DX）推進事業 ※募集案内より</p> <p>博物館資料の収蔵品データベースの作成を含むデジタル・アーカイブ化とその公開・発信や博物館における業務のDXの双方に効果的に取り組むものであって、博物館の機能強化、資料の公共化やグローバルな発信、国民の創造的活動への活用に資するものとする。なお、申請する事業は、中核館を含む概ね5館（団体）程度が連携し、以下、アとイの両方を実施する取組とする。</p> <p>ア 収蔵品データベースの作成を含む、博物館資料のデジタル・アーカイブ化を推進し、公開・発信する取組</p> <p>イ 学芸員等の博物館専門職員等に対する博物館DXに関する人材育成・研修を含む、業務のDXによる学芸員の業務負担軽減を図る取組</p> |
| 事業期間（着手～完了） | 令和5（2023）年7月1日～令和6（2024）年2月29日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 補助額（決定通知）   | 3,200万円 ※MuseumDX（博物館DX）推進事業の補助上限は4,000万円                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

# 1. 大阪市博物館機構の紹介と補助事業概要

## ■ 補助事業概要

### 状況：各館のデータベースは道半ば

- 収蔵品管理システムは機構として統一されておらず、各館様々。
  - 分野の違い。収蔵品の質的違いが大。
  - 総数200万点以上。数が多い。
  - 各館の経過が様々。

### 背景：2025年大阪・関西万博の開催

- 多くの来阪が見込まれる状況で、連携事業として2025年度に「大阪博」を開催を計画（2023年度～2025年度予算化）。
- Webを利用し、一定数の所蔵品公開を行うプロジェクトに取り組みたい。

- 各館の収蔵品の中から合計120点の「大阪の宝」を選定し、来歴等所蔵品にまつわるストーリーを、高精細画像・VRコンテンツ等で紹介し一般公開。※2025年度には大阪の宝リアル展示を実施。
- 各館の所蔵データを本データベースに連携させ、一般公開。  
→収蔵品の魅力を発信することで、来阪を促し、都市大阪の賑わいの創出に寄与する。
- 博物館のDX戦略にかかる研修も実施。

## 2. 2023年度（補助事業期間）：基盤づくり

### ■ 最初に取り組んだこと

#### ・ プロポーザルで事業者を募集

仕様書・募集要項を作成しながら、  
「何を実現したいのか」に立ち返る作業から開始。

先行事例（他館の例）を参考に。



#### ・ 業務の省力化を優先、拡張性も検討

「二重の手間」が生まれない仕組みを目指す。可能性は残す。

### 結果的に、自走化につながった要因に？

#### ・ 事業者との連携

実現したいことをいかに実現させるのか、プロのサポートにより進めることができた。

#### ・ 「無理をしない」設計

できることからスタート。

- ✓ 各館の収蔵品管理システムを活かす。
- ✓ メタデータ統一という「理想」より、「現実」を。

## 2. 2023年度（補助事業期間）：基盤づくり

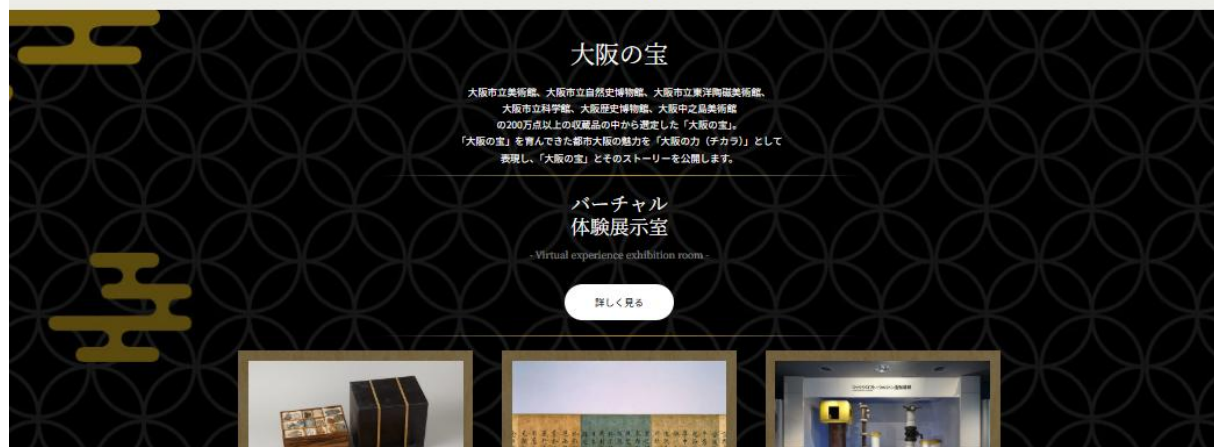
### ■ 完成したウェブサイト～デジタル大阪ミュージアムズ



#### 【2つの機能】

- 大阪の宝
- 各館の収蔵品を横断検索できる統合データベース

デジタル大阪ミュージアムズ



## 2. 2023年度（補助事業期間）：基盤づくり

【大阪の宝】「大阪の宝」を育んできた都市大阪の魅力を「大阪の力（チカラ）」と表現し、「大阪の宝」の来歴や作品等が持つストーリーを公開。

# 大阪の宝

・人々が愛け集いできた多くの宝・

デジタル大阪ミュージアムズ 大阪の力 大阪の宝コレクション

## 大阪の宝は、大阪のアイデンティティ

大阪は、古代から中近世を経て現代に至るまで、一貫して「都市」として栄え、様々な人々が活躍するとともに、こうした人々によって自然・科学を含む多種多様な文化遺産が収集・蓄積されてきました。また、全国の自治体に先駆け、博物館・美術館の整備を進めた結果、多くの収集家から数多くの貴重なコレクションを託されてきました。

これらは、長きにわたり当地で育まれてきた品々で、現在も（地獄）大阪市博物館機構の博物館・美術館において大切に守られ、人々に感動を与えるとともに、大阪のアイデンティティの象徴として未来社会に引き継ぐべき、まさに「大阪の宝」です。

今回はその中でも、特にその収集に関わった先人や継承の履歴を通じて、それらを育んできた都市大阪の魅力を体感できるような各館の代表品20点ずつ、合計120点を「大阪の宝」として選定しました。「大阪の宝」を育んできた都市大阪の魅力を「大阪の力（チカラ）」と表現し、「大阪の宝」の来歴や作品等が持つストーリーを公開します。

2025年大阪・関西万博が開催される2025年には、各館で多くの「大阪の宝」を実際に展示します（※大阪中之島美術館での展示は一部のみ）。

展示期間等については[大阪博](#)のwebサイトをご覧ください。

<地方独立行政法人大阪市博物館機構が運営する博物館・美術館>

- 大阪市立美術館
- 大阪市立自然史博物館
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 大阪市立科学館
- 大阪歴史博物館
- 大阪中之島美術館

文字サイズ・色 English



### 市民の力

大阪という都市の文化を作り上げたのはまさに大阪に暮らし、大阪を愛した人びとでした。江戸時代、知の源とされた木村屋蔵書のように傑出した業績を遺した人びともいれば、優れた見聞や地道な活動によ...

もっと見る

### 都市の力

アジア、そして世界に開かれた日本の玄関口としての役割を長らく果たしてきた大阪。その立地の恵みから時代を重ねることで育まれてきた都市大阪は豊かな文化と多様な文化。そして才能豊かな人々が集まり...

もっと見る

### 未来への力

大阪では現状に満足せず、好奇心を元に眼に焼き、探求を進める人々、現状を変えようとする人々、暮らしの道具に改良を加え続ける人々の営みが繰り返されてきました。また歴史の教訓に学び、...

もっと見る

### 芸術の力

芸術は人間の根源的な創造活動であり、人間を人間たらしめる不可欠な存在です。大阪では古代よりさまざまな芸術が生み出され、また国内外からも多様な芸術作品が集積され、都市と人びとに活力をもたらしてき...

もっと見る

### 風土の力

人の情熱が作り上げた様々な作品やコレクション、研究だけでなく、大阪という土地の自然環境や立地条件、そこで積み重ねられた歴史や育まれた文化が背景となって生まれた宝も多くあります。これら大阪...

もっと見る

## 2. 2023年度（補助事業期間）：基盤づくり

### 市民の力

大阪という都市の文化を作り上げたのはまさに大阪に暮らし、大阪を愛した人びとでした。江戸時代、知の巨人と言われた木村藤樹堂のように傑出した業績を残した人びともいれば、優れた見識や地道な活動によって貴重なコレクションを築きあげた個人コレクターや博物館に集った人びとの存在も見逃せません。このような時代を超えた大阪の「市民」の子孫が後世に伝えるべき大阪の宝を築き上げる原動力となったのです。



鮮やかな色彩で表現された煉瓦窯

市民の力



シンプルな形の製造点

市民の力



岡村実一氏の昆虫コレクション、30年の集大成

市民の力



もう入手できない、迫力あるチョウたち

市民の力



自然史博物館昆虫コレクションの原点

市民の力



空前絶後日本最大の鳥の巣コレクション

市民の力



日本国産の白亜紀の化石産地でもある大阪

市民の力



校長先生がつくった日本の近代貿易研究の礎

市民の力



緑の歴史を紐解く書画

市民の力



ようやく見えてきたパリの「聖」

市民の力



琳派のエッセンスを凝縮

市民の力



白紙に蘇る天女を中心に多様な信仰が融合した一品

市民の力



### 鮮やかな色彩で表現された煉瓦窯



#### 佐伯祐三《煉瓦窯》1928年

佐伯祐三が亡くなる半年前、パリから電車で1時間ほどにある小さな村、ヴィリエ＝シュール＝モランで描いた1点。古びた煉瓦窯の姿を、黒く力強い線や、赤、青、緑などの鮮やかな色彩によって、唯一無二の芸術に昇華させています。美術コレクター・山本豊次郎が初めて目にした佐伯作品の一つで、一次コレクションを築ききっかけとなりました。山本が収集した作品群は、現在では大阪中之島美術館の佐伯祐三コレクションの核となっています。

| 項目         | 内容                                                                                                        |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大阪の力       | 市民の力                                                                                                      |
| 所蔵施設       | 大阪市立美術館                                                                                                   |
| カテゴリ       | 高橋鑑                                                                                                       |
| OCA/詳細リンク1 | <a href="https://dom.ocm.osaka/database/yukika-art/312">https://dom.ocm.osaka/database/yukika-art/312</a> |

## 2. 2023年度（補助事業期間）：基盤づくり

### 【各館の収蔵品を横断検索できる統合データベース】

デジタル大阪ミュージアムズ  
DIGITAL OSAKA MUSEUMS

文字サイズ・色 ▼ English

大阪の宝 大阪コレクションズ・アーカイブ 施設紹介 ▼ 最新情報

[Home](#) / 大阪コレクションズ・アーカイブ

大阪コレクションズ・アーカイブ

キーワードを入れてください

AND OR

# 淀川 # 青磁 # 佐伯祐三 # 江戸時代 # 国宝

☒ 画像のないものも表示する すべてクリア

絞り込み ☐ すべて選択 ☐ 大阪市立美術館 ☐ 大阪市立自然史博物館 ☐ 大阪市立東洋陶磁美術館 ☐ 大阪市立科学館 ☐ 大阪歴史博物館 ☐ 大阪中之島美術館

249154 件 20件 ▼

< 1 2 3 4 5 6 7 ... 12458 > Go to



三彩貼花 宝相華文 壺

● 大阪市立東洋陶磁美術館



緑釉 楼閣

● 大阪市立東洋陶磁美術館



青磁 鳳凰耳花生

● 大阪市立東洋陶磁美術館



釉裏紅 牡丹文 盤

● 大阪市立東洋陶磁美術館









### 3. 2024年度（事業完了後）：自走へ

## ■ 2024年度は不採択。なぜ事業を続けられたのか。

### 継続できた3つの理由

1

#### 予算

大阪博の予算枠を活用。予算化された事業の一部・延長として位置づけた。

2

#### 設計

2023年度の「省力化設計」が効いた。

3

#### 判断

バーチャル展示室の再考など：バーチャル空間構築にこだわらず、収蔵品の見方・楽しみ方を伝えることに。

学芸員と相談しながら、優先順位を決定。

### 3. 2024年度（事業完了後）：自走へ

## 2024年度に公開した主なコンテンツ【大阪の宝英語ページ】

大阪の宝  
— 人々が笑ひ楽しいでまた多くの宝 —



Digital Osaka Museums   The Power of Osaka   Treasures of Osaka Collection

### The Treasures of Osaka are Osaka's identity

From ancient times through the Middle Ages and early modern period to the present day, Osaka has consistently flourished as a city with contributions from a variety of people whose activities have led to the gathering and accumulation of an extensive cultural heritage that includes nature and science. Moreover, due to its head start on municipalities across the country in developing museums and art galleries, Osaka has been entrusted with many valuable collections from a large number of collectors.

These collections have long been cultivated here and are still protected with care in the museums and art galleries of the Administrative Agency for Osaka City Museums. These are true "Treasures of Osaka" that move people's hearts and should be passed down to future generations as a symbol of Osaka's identity.

Now, we have selected 20 representative items from each museum for a total of 120 items as Treasures of Osaka that will enable you to experience the charm of Osaka, the city that fostered them, through the history of their inheritance and the pioneers that had a special hand in their collection. We have already revealed the provenance of the Treasures of Osaka and the stories behind the works, presenting the "Power of Osaka" as an expression of the charm of Osaka, the city that cultivated the Treasures of Osaka.

In 2025, the year of Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan, many Treasures of Osaka will actually be on display at each museum (\*only a portion will be on display at the Nakanoshima Museum of Art, Osaka).

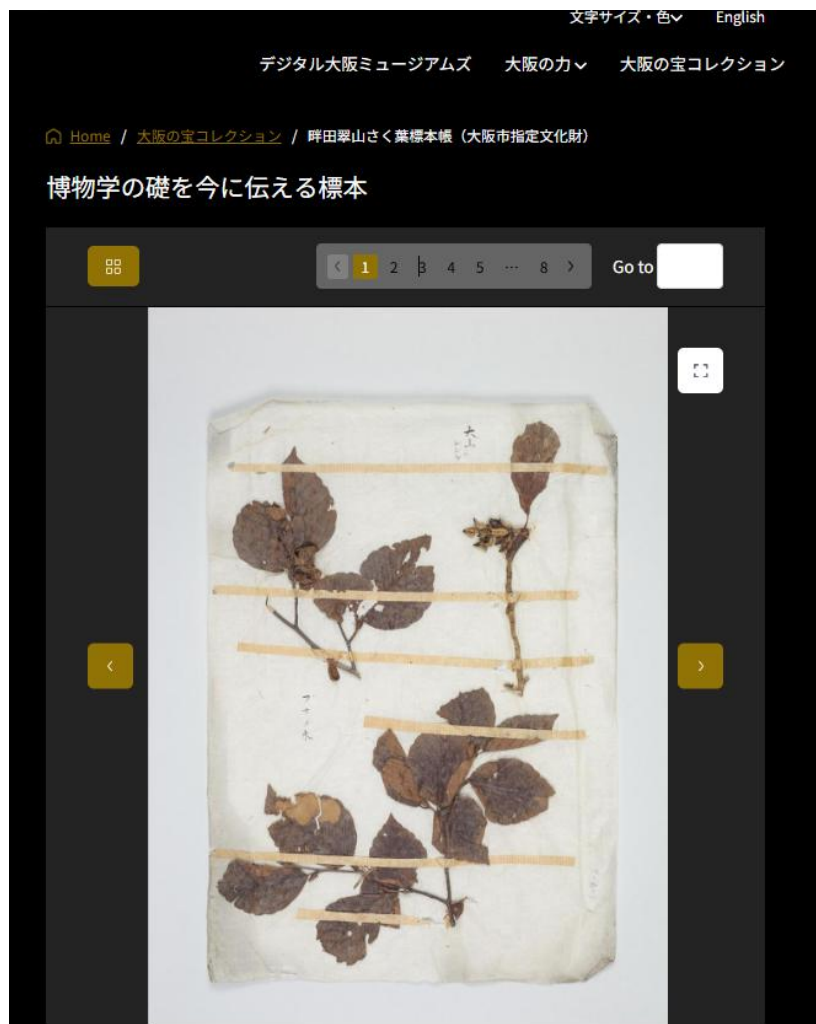
For information on the exhibition period and other details, please refer to the [OSAKA-HAKU](#) website.

<Museums and art galleries operated by the Osaka City Museum Organization, a local independent administrative institution>

- Osaka City Museum of Fine Arts
- Osaka Museum of Natural History
- The Museum of Oriental Ceramics, Osaka
- Osaka Science Museum
- Osaka Museum of History
- Nakanoshima Museum of Art, Osaka

### 3. 2024年度（事業完了後）：自走へ

## 2024年度に公開した主なコンテンツ【大阪の宝解説動画】



【大公開】これはレア...江戸時代の植物標本 見たことある？（大）  
Osaka Museum (大阪ミュージアムズ)

**激レア** 大阪の宝

**江戸時代の植物標本**

大阪市立自然史博物館 見る YouTube

畔田翠山さく葉標本帳（大阪市指定文化財）

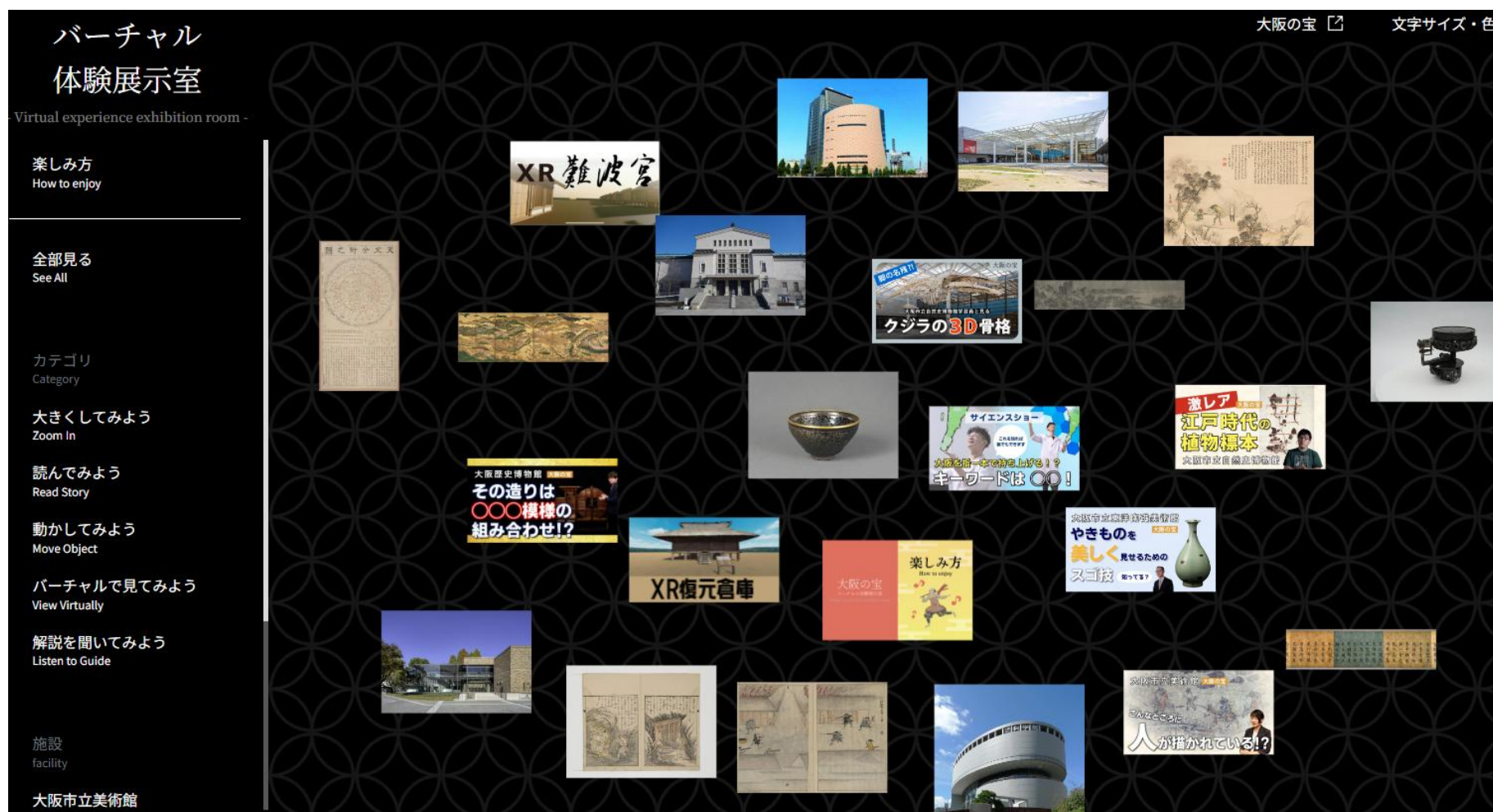
畔田翠山（くろだ・すいざん別名源伴存）は紀州藩の薬園の管理者となった人物です。下級藩士ながら、京都で本草学を学び、その才能を見出されました。北陸や紀伊半島各地の植物、地誌調査を行い書物に書き残しました。この「標本」はその証拠となるものです。検証ができるよう標本を残す畔田の研究は現在にも適用するものです。後につづく堀田龍之助など大阪の博物学者にも、南方熊楠など紀州の博物学者にも影響を与えた人物です。

| 項目   | 内容         |
|------|------------|
| 大阪の力 | 都市の力       |
| 所蔵施設 | 大阪市立自然史博物館 |
| カテゴリ | 高精細        |

### 3. 2024年度（事業完了後）：自走へ

## 2024年度に公開した主なコンテンツ

【大阪の宝バーチャル体験展示室】資料により見せ方はいろいろ。バーチャルの見せ方の見本帳みたいなものを。



### 3. 2024年度（事業完了後）：自走へ

## バーチャル 体験展示室

- Virtual experience exhibition room -

楽しみ方  
How to enjoy

全部見る  
See All

カテゴリ  
Category

大きくしてみよう  
Zoom In

読んでみよう  
Read Story

動かしてみよう  
Move Object

バーチャルで見よう  
View Virtually

解説を聞いてみよう  
Listen to Guide

大阪の宝 [🔗](#)

文字サイズ・色 [▼](#)

## カールツァイス・星座絵投影機 Carl Zeiss constellation projector

動かしてみよう



Copyright (C) City of Osaka All rights reserved.

## 4. 2025年度～現在へ：自走＋利用促進

### ■ 2025年度の計画

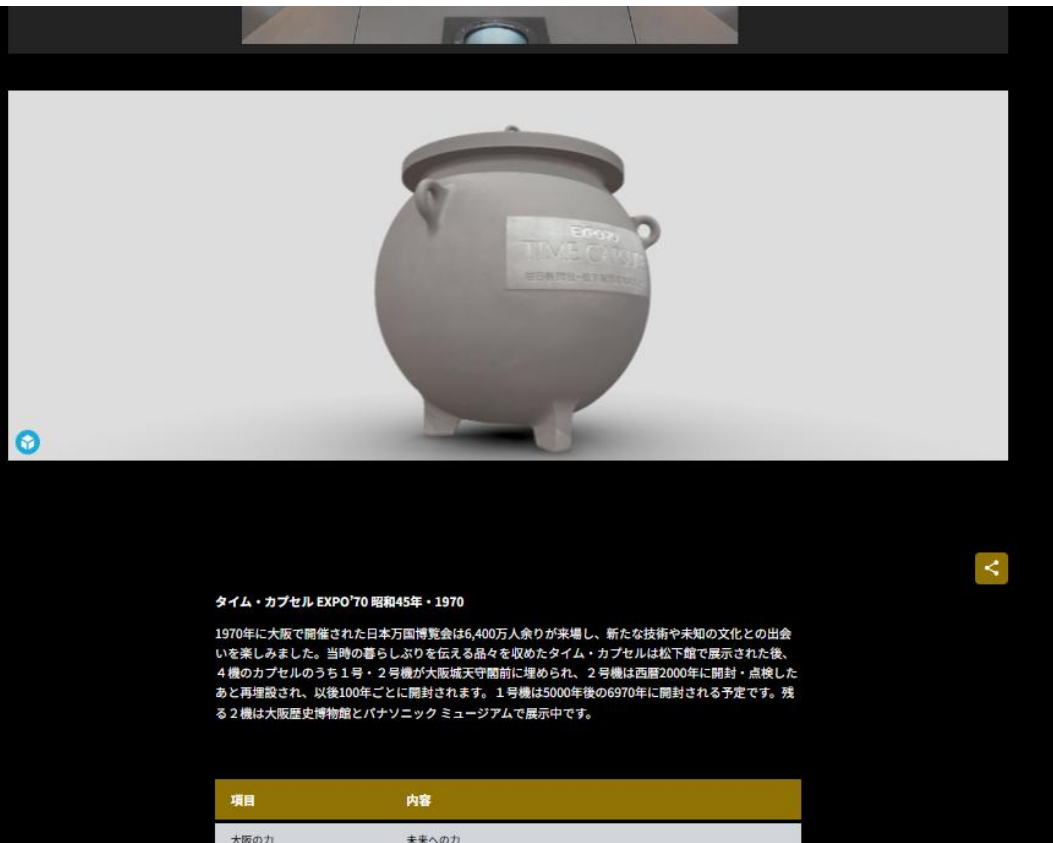
- 予算：機構内の予算（大阪博）の中で実施。
- コンテンツ：一部追加
  - リアル展示「大阪の宝」のイベント等での公開を目指し、一部収蔵品のデータ化と公開
  - 「大阪の宝」解説動画の追加作成と公開
- 利用促進に注力
  - リアル展示「大阪の宝」と連動させ、ウェブサイトの利用促進
  - 国内外に向けての大阪博プロモーションによって利用促進を加速

※2023年度～2025年度 日本博2.0を契機とする文化資源コンテンツ創成事業最高峰の文化資源の磨き上げによる満足度向上事業に採択

## 4. 2025年度～現在へ：自走＋利用促進

### ■ 2025年度に公開した主なコンテンツ

【大阪の宝】タイム・カプセル EXPO'70の3D化、タイム・カプセル EXPO'70に収納するために製作された映画〈表情 1970〉のデジタル化と公開



#### 関連行事

大阪市博物館機構 連携企画 大阪歴史博物館 特別企画展

大阪の宝  
TREASURES of OSAKA  
in 大阪歴史博物館

#### 16mmフィルム〈表情1970〉 デジタルリマスター上映会 ～カプセルに封印された昭和の記録、甦る20世紀の日常～

|     |                                                                                                                    |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 令和7年9月15日（月・祝）<br>13:30～14:45（13:00から4階受付にて整理券配布）                                                                  |
| 内容  | タイム・カプセルEXPO'70に収納するため製作された映画を16mmフィルムからデジタル化して上映します。人びとの営み、政治、文化、芸能、民俗…60年代～70年代を中心に日本のさまざまな断面を捉えた貴重な記録映像をご覧ください。 |
| 会場  | 大阪歴史博物館 4階 講堂                                                                                                      |
| 定員  | 250名（事前申込不要、当日先着順）                                                                                                 |
| 参加費 | 無料（ただし、入場には常設展示観覧券が必要です）                                                                                           |

## ■ 利用促進

10

青磁象嵌 童子宝相華唐草文 水注 重要文化財

青磁（緑釉） 13世紀末  
大阪府立博物館蔵（複製・写真・スケッチ）  
高麗青磁の「蓮象嵌」技法による水注。自主や富貴に、宝相華風の宝珠（童子宝相）に象徴される「ジャコビ豆の木」を思わせる。象眼や子孫繁栄は願いが込められた器。

童子は豊よ、ささぐも  
To the Boy Keep on Growing

34

10 Celadon with inlaid designs of boys and hollyhock scroll Important Cultural Property  
Celadon flower, actual height of the 13th-14th century  
The Museum of Oriental Ceramics, Osaka (Gift of YOMIOTORI Group / The AYUKA Collection)  
The decoration of this vase would have involved using the inlaying technique. The scene of a boy (climbing a vine with hollyhock-like flowers) surrounds one of the "Jaki and the Bunsuiki." It symbolizes a wish for fertility and prosperity for descendants.

10 1st Floor, W 13rd St. Room, Admission No. 00228

大阪の宝  
TREASURES of OSAKA  
大阪市博物館蔵 複製公開

QRコード

詳しい情報はこちら  
more information

複製品は大阪市立博物館蔵



## 4. 2025年度～現在へ：自走＋利用促進

### 利用促進

【SNS等での広告配信】 日本博2.0事業で国内外に発信。



【その他】 大阪市の図書館の検索システム[OMLINサーチ](#)と連携し、横断検索の検索対象に。教員向け研修で、授業での活用方法を紹介する。 など

# 5. 成果と課題・まとめ

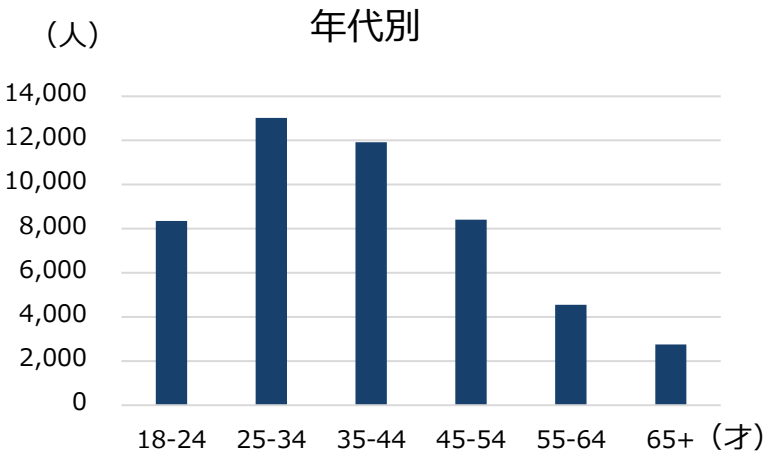
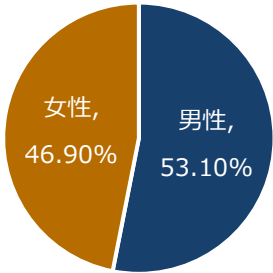
## ■ 成果

- **多くの方に利用された**：ウェブサイト アクティブユーザー数 218,434人  
表示回数402,672回（2024年2月20日～2026年3月31日 ※2026年6月30日閲覧）

アクティブユーザー 国別

|    | 国別     | ユーザー数<br>(人) | %      |
|----|--------|--------------|--------|
| 1  | 日本     | 182,697      | 83.64% |
| 2  | シンガポール | 19,231       | 8.80%  |
| 3  | 中国     | 8,322        | 3.81%  |
| 4  | 香港     | 1,691        | 0.77%  |
| 5  | アメリカ   | 1,685        | 0.77%  |
| 6  | 台湾     | 1,667        | 0.76%  |
| 7  | 韓国     | 1,152        | 0.53%  |
| 8  | フランス   | 217          | 0.10%  |
| 9  | カナダ    | 171          | 0.08%  |
| 10 | ドイツ    | 151          | 0.07%  |

性別



## 5. 成果と課題・まとめ

### ■ 成果

#### 学校での活用事例も

[Home](#) / [最新情報](#) / デジタル大阪ミュージアムズを学校の授業で活用いただきました

#### デジタル大阪ミュージアムズを学校の授業で活用いただきました

2024年12月24日（火）



大阪府立たまがわ高等支援学校から、デジタル大阪ミュージアムズの中の「大阪の宝」(<https://dom.ocm.osaka/treasure>)を活用した、美術の授業の実践事例を寄せていただきました。

鑑賞学習だけでなく、制作活動にも活かした事例です。

生徒のみなさんの作品も紹介していますので、ぜひ、ご覧ください。

※大阪府立たまがわ高等支援学校のWebサイトでも紹介されています。<https://www.osaka-c.ed.jp/blog/tamagawa-ks/tblog/2025/01/31-275384.html>

#### デジタル大阪ミュージアムズの「大阪の宝」を、学校の授業に活用しました。

授業考案：大阪府立たまがわ高等支援学校 釘貫ひとみ

対象学年：第1学年 52名 6クラス

大阪・関西万博で大阪を訪れる方々に『大阪の宝』を紹介すること」を目的に、鑑賞、模写、デジタル画制作、の3つを含んだ学習です。

本校では、1人1台のタブレット端末（iPad）を使った教育活動を行っており、美術科でも積極的にICTの利点を生かし、デジタルでの制作を取り入れています。

まず、生徒は、「大阪の宝」サイト (<https://dom.ocm.osaka/treasure>)にある作品を鑑賞し、その中から「ぜひ紹介したい!」と思う作品を1つ選び、鑑賞ワークシートを作成し、完成させます。

## 5. 成果と課題・まとめ

### ■ 課題

- **旗振り役の不在**：複数館が参加するため、全体設計・推進を担うリーダーシップが必要。「誰がどのように設計するか、何をどうするか」という合意形成に時間がかかった。
- **館ごとの違い**：各館の状況はさまざま。なかなか進まない館も。
- **利用規約**：二次利用条件の整備等

それでも、公開することで利用された。  
課題を抱えながらも前に進めた。

## 5. 成果と課題・まとめ

### ■ まとめ～自走のために

- **無理しない設計を最初から**：メタデータ統一・完璧なシステム等より、現場が続けられる省力化設計を優先する。補助後のコストを見越した設計が自走の鍵。
- **孤独に取り組まない**：先行事例を参考に、専門業者等と連携して実施。「自分たちだけで考える」より「すでにある知恵を借りる」ほうが早いし、より良くなる。
- **小さな一歩でも進める**：状況や技術は変わり続ける。できることはないか、既存事業を見直しつつ、やりたいことがある人と、できることをコツコツと。完璧を待たず公開し、使われることで価値が生まれる。利用されることは、やる気につながる。

【おすすめ ※2026.6.29閲覧】

・ [I.B.MUSEUM SaaS を使ったデジタルミュージアム・デジタルアーカイブ事例データベース](#)

・ 「ミュージアムDX実践ガイド はじめて取り組むあなたのために」企画・発行文化庁 企画調整課 博物館振興室  
[Museum DX Practical Guide.pdf](#)

本事業は、下記の助成を受け、ミュージアム活性化実行委員会、機構職員や多くの事業者等の協力のもと実施できました。

また、大阪府立たまがわ高等支援学校（授業考案 釘貫ひとみ教諭）にご協力いただき、デジタル大阪ミュージアムズの活用事例をウェブサイトで掲載しています。

ありがとうございました。

- － 令和5年度文化芸術振興費補助金Innovate MUSEUM事業「博物館DX推進事業」
- － 令和5・6・7年度日本博2.0を契機とする文化資源コンテンツ創成事業「最高峰の文化資源の磨き上げによる満足度向上事業（補助型）」